

FF7 年号の表記揺れ問題について

2023 年 10 月 14 日 ©マスダ (@msd_meb2)

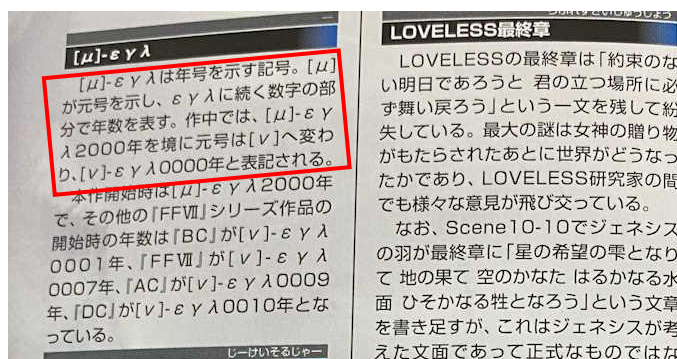
○いきなりだが結論

現状 FF7 の年号は 2 種類の表記が混在している。

○そもそも FF7 における年号とは？

無印（オリジナル）FF7 中にはない。おそらくコンピレーション作品（CC？）が作成されるに当たってあとから追加された設定のひとつで、『クライシス・コア ファイナルファンタジーVII ザ・コンプリートガイド』（2008 年 2 月 10 日初版発行）P274 によれば、

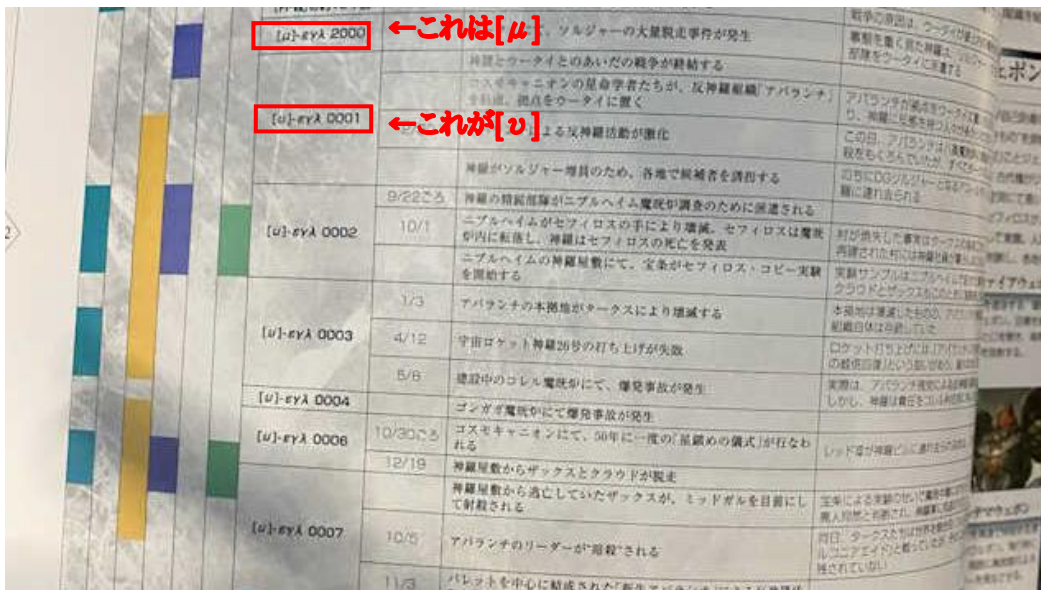
$[\mu]-\varepsilon\gamma\lambda$ は年号を示す記号。 $[\mu]$ が元号を示し、 $\varepsilon\gamma\lambda$ に続く数字の部分で年数を表す。作中では、 $[\mu]-\varepsilon\gamma\lambda 2000$ 年を境に元号は $[v]$ へ変わり、 $[v]-\varepsilon\gamma\lambda 0000$ 年と表記される。



『クライシス・コア ファイナルファンタジーVII ザ・コンプリートガイド』（2008 年 2 月 10 日初版発行）P274 より

ここで、上記の $[\mu]$ の次の元号に注意を向けたいのですが、この記述によれば、「 $[\mu]-\varepsilon\gamma\lambda 2000$ 年を境に元号は $[v]$ へ変わり、 $[v]-\varepsilon\gamma\lambda 0000$ 年と表記される」とあります。

ところがこの元号、2009 年 5 月 7 日初版発行の『ファイナルファンタジーVII10th アニバーサリーアルティマニアオメガ』P32 に記載の「物語年表」によれば、 $[\mu]-\varepsilon\gamma\lambda 2000$ 年の次は $[v]-\varepsilon\gamma\lambda 0001$ 年になっています。



『ファイナルファンタジーVII10th アニバーサリーアルティマニアオメガ』(2009年5月7日初版発行) P32より

え、なにが違うのって？

そう云うと思った。

○ご面倒だがここでギリシア文字について確認

まずは以下のギリシア文字のアルファベット表を眺めてください。英語や西欧語で今日使われるアルファベットは主にギリシア文字をもとに作られたので、対応するローマ字アルファベットも横に載せてあります。

ギリシア文字	文字の読み	対応するローマ字
A α	アルファ	Aa
B β	ベータ	Bb
Γ γ	ガンマ	Cc
Δ δ	デルタ	Dd
E ε	エプシロン	Ee
Z ζ	ゼータ	Zz
H η	エータ	Hh
Θ θ	テータ	
I ι	イオタ	Ii
K κ	カッパ	Kk
Λ λ	ラムダ	Ll

M μ	ミュー	Mm
N ν	ニュー	Nn
Ξ ξ	クシー	
O o	オミクロン	Oo
Π π	パイ	Pp
P ρ	ロー	Rr
Σ σ ς	シグマ	Ss
T τ	タウ	Tt
Υ υ	ユプシロン	Yy
Φ φ	ファイ	
X χ	キー	Xx
Ψ ψ	プシー	
Ω ω	オメガ	

いま注目していただきたいのは、赤字で示した **ν (ニュー)** と **υ (ユプシロン)** です。小文字が非常に似ているのがおわかりでしょう。大文字では両者の違いは疑いようがありませんが、小文字は実によく似ています。

○ここで年号の表記に戻って比べてみましょう

『クライシス・コア ファイナルファンタジーVII ザ・コンプリートガイド』のほうは、[μ]の次の元号部分が[ν] (ニュー) に、『ファイナルファンタジーVII10th アニバーサリーアルティマニアオメガ』では[υ] (ユプシロン) になっているのがわかるでしょうか。

もう一度ギリシア文字のアルファベット表を眺めてください。

[ν] (ニュー) はどこにあるでしょう。[μ] (ミュー) の次ですね。

[υ] (ユプシロン) はそのずっと下にあります。少なくとも、[μ] (ミュー) との連続性を感じられるような位置にないということは云えるでしょう。

というのも、これも歴史的な話をすればユプシロン以下はあとからつけ加えられた文字なのです。

なにが云いたいかはもうおわかりだと思います。

ギリシア文字のアルファベット表、つまり伝統的な文字の配列順序は先に示したとおりです。この文字の配列、並び順に関しては、いつ頃完成したか正確なところはわかりませんが、それ以前にあったフェニキア文字やその他セム系言語の文字などとの絡みもあり、少なく

とも紀元前に遡ることができます。

わたしが云いたいのは、では FF7 の正式な元号は、

[ν](ニュー)と[υ](ユプシロン) のどっちなんだということです。

この混乱は、2000 年代の古い書籍の中だけで起こっていることではありません。

最近の資料でいけば、『ファイナルファンタジーVIIリメイク マテリアル アルティマニア』（2020 年 10 月 29 日初版発行）P259 に記載の年表では**[ν](ニュー)**表記です。

7年前	[μ]-εγλ 2000	●ジェネシスによるソルジャー大量脱走事件発生 このあたりでマテリアの製品化とソルジャーの実戦投入が本格化。一気に戦況が神羅側へ傾いていくこととなる。
6年前	[ν]-εγλ 0001	●神羅・ウータイ間の戦争終結 ●星命学者により反神羅組織アバランチ発足 戦争が勃発してから実により年月日が流れてからの終戦。ここから魔晄炉稼働率は戦前に戻ると思いきや、十分なエネルギー供給に感覚が麻痺した神羅や住民たちは稼働率を下げることなく魔晄を吸い上げ続け、魔物の被害は増えていく。
↑ 6年間 ウータイ 戦争 戦後期 ↓		戦後処理のため、神羅は今まで戦争のために使用していたエネルギーをプレートの延伸やプレート上層への還元で使用していくが、この恩恵に与れないスラムでは以前にも増して反神羅の思想が広まっていく。 ただし、相互依存の関係にあるため表立った反神羅活動は少なく、アバランチ等の組織によるテロ活動が続いていくこととなる。

※わたしはこの書籍を持っていないため、画像はツイッターのフォロワーさんに確認・撮影・提供していただいたものです。

しかしながら、先日公開された「[神羅カンパニーの歴史](https://www.youtube.com/watch?v=NkyPaoxz1mU)」動画（URL：<https://www.youtube.com/watch?v=NkyPaoxz1mU>）において提示された年表では、**[υ](ユプシロン)** が用いられており、年号の読み方も「ウ・エギル」であることがわかりました。

ギリシア文字はアルファベット、音素文字です。つまり音をあらわす文字です。ということは、**音が確定すると文字が確定する**ということになるわけです。

わたしがもう 10 年以上も前からこの問題に気がついていたにも関わらず、いままで言い出さなかったのは、音がわからなかった、つまり**[μ]-εγλ**や**[ν]-εγλ**をなんと読むかわからなかったからです。

音がわからない以上文字を確定させることはできません。そして、音がわからない以上、それはこちらの考察の余地が、すなわち想像の余地があったわけです。

ところが、今回動画で読みが確定してしまった。ということは、文字が確定するということです。

そして「ウ・エギル」の「ウ」に該当する文字は[υ] (ユプシロン) です。

※[υ] (ユプシロン) の読みが「ウプシロン」と表記されているケースがままありますが、それはこの文字が、はじめ u(ウ)と発音されていたのが、時代とともに y (ユ) と発音されるように変わってしまったためです。

話を戻します。

「ウ・エギル」の「ウ」に該当する文字は[υ] (ユプシロン) です。

では現に存在している[υ](ニュー)表記のほうはいったいなんなんだという疑問が当然起こります。

ここでふたたびギリシア文字のアルファベット表に戻しましょう。

[υ] (ニュー)はどこにあるでしょう。[μ] (ミュー) の次ですね。

あえて私見を述べれば、[υ] (ニュー)か[υ] (ユプシロン) のうち、どちらかが誤植で、もっとつっこんで言えば、[υ] (ユプシロン) はどこかの段階で[υ] (ニュー)との混同が起き、それが定着してしまったのではないかと疑っています。

なにしろこのふたつの文字はよく似ています。

現在もなお書籍によって表記が揺れているということは、おそらく年表として 2 種類の資料が存在しているのでしょう。そのときどきによって元として引っぱってくる資料が違えば、表記が違うわけです。

先日、ついに黙っていられなくなったのでスクエニのインフォメーションセンターへこの問題を投げてみましたが、やはりインフォメーションセンターではわからない(当たり前だが) ことだったようで、わからずじまいです。

これ、どうでもいい人にはどうでもいいと思いますが、どうでもよくないのです。

せめて音が確定したからには、正しくは[ν] (ユプシロン) だくらいのことを云ってほしい。わざわざ元号が設定されてあるくらいですから、それは FF7 の世界においては非常に大きな意味を持つのでしょうか。もし[μ]元号の次が[ν] (ユプシロン) であるのなら、**なぜ μ の次に ν という元号をあえて選んだのか、受け手であるこっちはそれを歴史背景も含めて仮定、検証する作業をしなければならないことになります。**

少なくともわたしはします。理解の仕方というかアプローチの違いです。別にそうするのが偉いとか正しいとかの問題ではありません。たいていの人にとって、元号がどっちだろうとどうでもいいでしょう。でもどうでもよくない人もいるという話です。こういう無益な誤解や論争を生むようなものは、統一するなりなんなりして、すっきりしてしまうに限りです。

長いこと書いてきましたが、云いたいのはつまり**結局正しい元号どっちなんだ、[ν] (ユプシロン) でほんとにいいのか？** です。

たぶんそうなるんだろうなとは思う。

でも個人的には、ここまで来てもやっぱり[μ]の次の元号は[ν] (ニュー) だと思う。文字一文字を用いた元号なら、決め方になんらかの規則性があるのが自然だと思うし、別にギリシアと心中する必要はないが、せっかくギリシアを持ちだしてきたのだから、ギリシア文字の配列に従ってもいいのではという、いちギリシア語学習者のお気持ちなのである。

○免責事項・謝辞

いろいろ書きましたが、ギリシア語に関しては専門に学んだわけではなくほぼ独学で、すべての方言を勉強しているわけでもないため、非常に偏った知識しか持ち合わせていません。継続的に学習を続けているわけでもなく、気が向いたらやっている程度なので、学習者としては永久に初心者の域を出ないのですが、しかし学生時代、わたしがラテン語をやるきっかけを作ったのが無印 FF7 で、ラテン語をやった以上ギリシア語もやろうと思ったのも FF7 のおかげなので、FF7 にはそういう意味で非常に恩義を感じているわけです。

しかもものちになって、実際にギリシア語をやった経験が非常に役に立ったことがあって、とにかくこの作品には大変な恩を感じているのです。FF7 がなかったら、間違いなく自分はこういう人間にはなっていなかったんで、いくら感謝しても拜んでも足りないくらいです。終わりに、わたしの上記のような疑問に辛抱強くつきあい、写真を提供してくださった某さんへ、感謝を申し上げます。